

デジタルプラットフォーム構築によるライフスタイル型地域観光・滞在スタイル創出事業

ポストコロナにおける新たな観光施策として、西条市において様々な分野で活躍する人材(キャスト)のスキルや趣味、ライフスタイルなどの特徴を活かした独自の滞在コンテンツを創出するとともに、それに共感する観光客等とのマッチングを可能とするデジタルプラットフォーム（以下、「DPF」という。）を構築し、誘客を推進する。

課題

○団体旅行市場の縮小

・コロナ禍の長期化により、募集型団体旅行を行う旅行会社や店舗が大幅に減少している。

○観光ニーズの多様化

・WEB等による旅先の見える化や、容易に旅先の手配を行えるようになった結果、個人旅行者が増加している。
・物見遊山の観光から、現地での特別な体験を求める者が増加している。

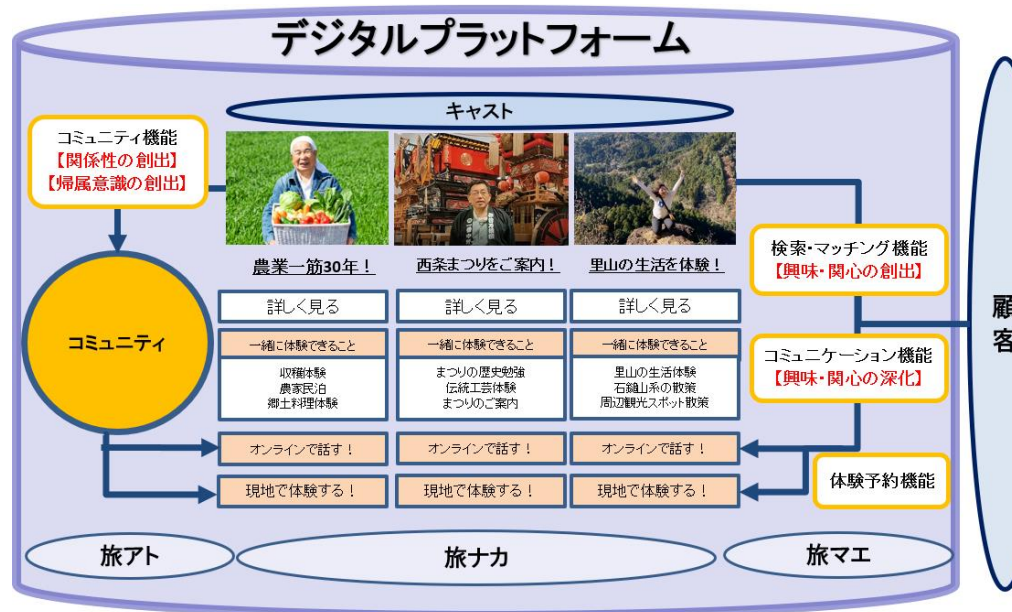
○生活スタイルの変化

・ワーケーションやリモートワークの概念が浸透しつつある結果、長期滞在や移住定住の候補地として認識する人が増えている。

新たな予約手段、地域との交流の仕組みが求められている。

課題を解決する取組（提案事業）

○稼働イメージ



来訪回数の増加や滞在期間を延ばし、『何度も地域に通う旅』『第2のふるさと』を推進する。

効果

○来訪者との継続的な関係づくり

・DPF実装を推進し、顧客の体験価値向上を実現することで、観光客と地域事業者の継続的な関係性が構築される。

○消費拡大及び再来訪の促進

・体験商品の販売や、飲食、宿泊等の消費活動が見込まれる。
・キャストと顧客の関係性が深まることで、来訪の高頻度化や滞在の長期化につながり、より長期的で高い経済効果へと発展する。

○収入機会の創出

・新たな顧客の獲得が見込まれる。また、繁忙期、閑散期等、キャストの都合に応じた副業が可能となり、働き方の多様化と個人所得の増加につながる。

○ふるさと納税、地域産品の購入

・地域への愛着や関心が深まることにより、ふるさと納税制度を活用した寄附や、地域産品の購入につながる。